

AI 倫理

方針

推進体制

教育

主な取り組み

相談窓口



新しい技術は、さまざまな課題を解決し人間の暮らしを豊かにする一方で、プライバシーの侵害、不当な監視の強化、偏ったデータで学習したアルゴリズムによる差別等、人権問題につながる危険性も指摘されています。パナソニックグループは、AI倫理を「人間中心・人権を尊重したAI活用を実践する世の中との約束」と考え、AI倫理に照らして適切なAI製品やサービスの開発運用・AI利活用を進めています。

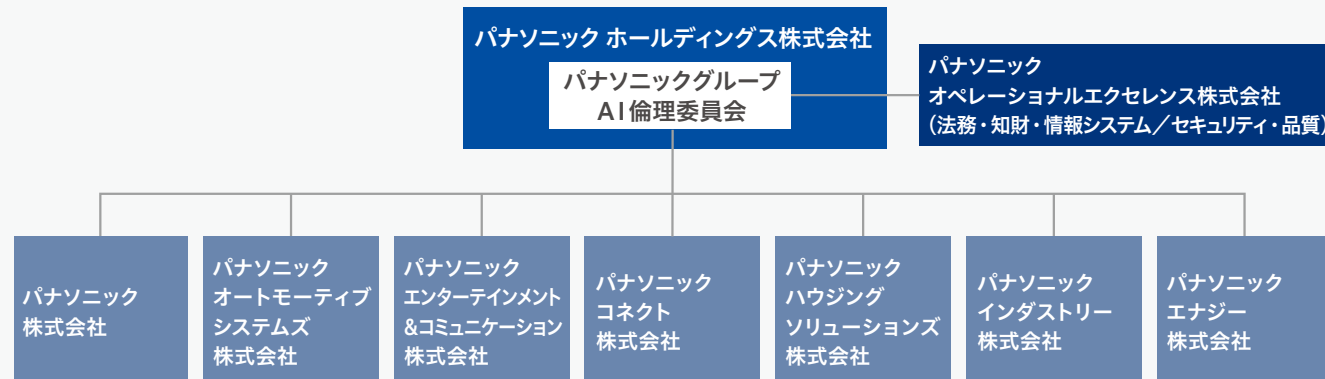
方針

パナソニックグループは、AI製品やサービスの企画から販売・利用に至るまでのAI利活用のライフサイクルにおいて、関連するお客様をはじめとするすべてのステークホルダーの安全および利益の保護を図るとともに、リスクの波及を抑止します。そうして、AI技術・製品への信頼を醸成することによりAI利活用を促進し、社会へのお役立ちにつなげていきます。

そのため、当社グループ全体に適用する「AI倫理規程」を定め、この規程および各国法令・規則・倫理ガイドライン等に照らして、AI利活用のライフサイクルが適切に遂行されるよう、AI倫理上のリスク評価と管理を行い、技術の向上やプロセス改善によりリスクの軽減および回避するAI倫理活動を推進しています。

推進体制

AI倫理活動は、グループCTO執行役員のもとで推進されます(2022年8月時点)。



グループCTOがパナソニックホールディングス内に設置するAI倫理委員会は、AI倫理担当および法務、情報セキュリティ等の関連機能から構成されており、当社グループに対して、AI倫理活動に関する制度や施策の策定、各事業会社のAI倫理活動の支援、リスクの把握・レビュー・対応案の策定等を行います。また、各事業会社にAI倫理担当を置き、AI倫理委員会と連携して各社の事業や技術に応じた活動を推進しています。

教育

グループ従業員がAI倫理活動の原則に従った業務を遂行できるよう、AI倫理委員会がAI教育を実施するためのコンテンツや教育システムを作成し、事業会社へ提供しています。

主な取り組み

■ AI倫理原則の公表

近年、AI技術の不適切使用による、差別の助長、プライバシーの侵害、安全性への不安等のAI倫理上の課題が社会問題となっています。これら社会状況を踏まえ、お客様に当グループのAI製品やサービスを安心してご利用いただくことを目的とし、当グループのAI倫理原則を定め、これを公表しました。

■ リスクアセスメント

AI倫理委員会は、グループ従業員のアンケート結果や、事業会社のリスク評価の結果を収集し、それらを分析して当社グループ内のリスク状況を把握しています。また、把握したリスクが高いと判断される場合は、設置したレビューチームによるリスクレビュー、部門横断での対応などを行います。

■ 社外連携

AI倫理委員会は、社外のAI倫理研究機関やコミュニティ・学会・公共セクターの委員会活動への参加等を通じて、AI倫理に関する研究や啓発活動を行っています。日本の経済産業省が設置した「AI原則の実践の在り方に関する検討会」を通じ同検討会の「AI原則実践のためのガバナンス・ガイドライン」作成に参画しました。

相談窓口

当社グループ従業員やお取引先様が、AI倫理に関する懸念のある言動を見聞きした場合は、グローバルホットラインへ通報することができます。また、各国で個人情報お問い合わせ総合窓口などを設置し、お客様のプライバシー保護に関する懸念事項にも対応しています。詳細は、以下をご確認ください。

- 「公正な事業活動」P114 「通報制度」
- パナソニックホールディングス株式会社 個人情報保護方針(日本の場合)

[WEB https://holdings.panasonic.jp/privacy-policy/request.html](https://holdings.panasonic.jp/privacy-policy/request.html)